

テーマ： **不動産プロジェクト研究 ～プロジェクトに集約された英知を解く～**

賃貸アパートは多くの、ひと（法律）・もの（建築都市）・かね（経済経営）が組み合わさって成立しています。そこに不動産学が包含されています。老朽し放置された空き家の活用は通常一般の方法では実現できず、より高度な、ひと（法律）・もの（建築都市）・かね（経済経営）の組み合わせが求められます。空き家活用は不動産学の応用といえます。都心部で行われる大規模再開発は長い時間をかけ、高度な専門知識を駆使して不動産価値を高めて都市の再生につなげます。都市再生には紛れもなく不動産学が集約されています。

上記はすべて不動産プロジェクト（PJ）です。ゼミでは不動産学の立場から特長のある不動産 PJ を分析し、PJ を成立させる知恵と工夫（成立要件）を把握し、整理する力を養います。その上で、具体的な不動産 PJ を想定し、想定 PJ の課題を抽出し、それを克服する仕組みを考案します。一連の研究を通じて、**不動産PJの分析力と構築力**を養います。

本ゼミにおいて求める学生像

不動産学部は文理融合型の学際学部ですが、授業はどうしても縦割りになりがちです。本ゼミでは法学、経済学、建築・都市学、経営学を横断的に学修し、不動産学の集約である**不動産PJを成立させる要因を俯瞰し改善提案**する力を養います。換言すれば、不動産PJにかかる**開発・金融・投資・流通・経営・管理を網羅して組み合わせる**力を養います。不動産学とは何か、まず、自らに問いかけて答えを出していくことに興味を持っている学生を求めます。次に、そのプロセスの中に自分の可能性を見出して喜びを感じる学生を求めます。さらに、誠実で着実に前進する努力を怠らない学生を求めます。他のゼミ生と意見交換して相互に高めあう姿勢も重視します。

ゼミ生（先輩）からのひと言

私たちの年は賃貸経営がテーマでした。賃貸経営と言っても範囲はとても広く、不動産の多くの知識が必要となります。基礎力をつけることに加えて、その中で自分が感じた賃貸経営の問題点や改善点を探求することができます。ゼミに入って不動産を見る目も少しずつ変わってくるのでなせだろうという視点が増え、普段の学修も楽しくなると思います（不動産学部4年田地川美祐）。

写真 いろいろの不動産プロジェクト



空気を売って駅舎をただで建て替えた（東京駅/Tokyo）



民間の倉庫をマンションにコンバージョンし公共の遊歩道を貫通させた（OXOビル/London UK）



空き家（馬小屋）を高齡者住宅にコンバージョンした（Letchworth/UK）



古い建物をうまく使う（Lavenham/UK）